

# 仕 様 書

1. 品 目 : 全自動錠剤分包機の購入
2. 数 量 : 一式
3. 目 的 : 2009年に導入している全自動錠剤分包機（トーショー社製Xana-20240EU）は、導入から16年目を迎え老朽化と共に修理部品の供給が終息し修理不能となった。全自動による一包化を行うことで業務負担の軽減を目的とし、さらに安全性や作業効率の上昇を図る。
4. 納入期限 : 令和8年3月31日  
ただし、納入スケジュールについては、当機構担当職員と十分に協議し、その指示に従うこと。
5. 納入方法 : 据付調整後渡し
6. 納入場所 : 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1  
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構  
QST病院1階 薬剤室
7. 仕様・性能 : 以下の性能を満たすこと。（トーショー社製 Xana-20240EU、相当品可）
  - 1-1 錠剤の処方データに応じ、誤飲防止・服用忘れ防止に役立つ一包化の分包が、自動で行える錠剤分包システムであること。
  - 1-2 錠剤調剤の指示のある処方データを処方解析監査装置より受け取れること。
  - 1-3 全自動錠剤分包機の一包化分包速度は54包／分以上であること。
  - 1-4 全自動錠剤分包機は薬剤の収納カセット数が136種以上であること。
  - 1-5 全自動錠剤分包機はカセットの配置換えが容易に行えるように、薬剤収納カセットサイズは、1種であること。
  - 1-6 全自動錠剤分包機は薬剤の補充の度合いに合わせ、カセット配置を自由に変更できること。
  - 1-7 全自動錠剤分包機は錠剤の収納カセットが帯電防止性、防湿性に優れていること。

- 1-8 錠剤の補充に際して、収納方式はスライドキャビネット方式を採っており、一度に34種以上の残量確認ができること。
- 1-9 本体へのカセット装着は、本体凸部へカセット凹部をかぶせるだけの簡単装着であること。
- 1-10 錠剤や半錠などの薬品形状にあわせてリアルタイムに可変対応できる特殊カセットを8個以上搭載していることにより、手撒きコンベアを利用することなく、分包機内に収納していない錠剤(後発薬品や頻出薬品など)を高速に払い出し分包できること。
- 1-11 全棚が錠剤カセットを自動で認識することができ、どこにどのカセットを配置しても錠剤カセットに取り付けられているタグと、分包機内の棚に設置されているタグ識別装置にて薬品の照合ができること。
- 1-12 全自動錠剤分包機は非実装薬剤の一包化が容易にでき、非実装薬剤のリストがタッチパネルに表示できること。
- 1-13 錠剤コンベアは、各マスにLEDランプが搭載されており、錠剤を投入すべきマスのLEDランプを点灯させることで錠剤の誤投入が防止でき、どのマスへまけば良いか一目瞭然のコンベアであり、このLEDランプ付錠剤コンベアが標準で搭載されていること。
- 1-14 全自動錠剤分包機は至急の割り込み及び号機指定ができること。
- 1-15 画面が15インチの大型のタッチモニターを搭載していること。
- 1-16 分包済み薬剤の内容を、モニターで確認できること。
- 1-17 現在使用しているマスタがそのまま使用でき電子カルテ・調剤支援システムとの連携機能を有すること。
- 1-18 現在使用している処方解析監査装置から受け取った錠剤の処方データに応じ、情報提供の観点から、自動で薬包紙に以下の印字ができること。
  - 患者氏名
  - 用法
  - 薬品名
- 1-19 処方区分、病棟ごとに自動で印字内容を変更できること。
- 1-20 全自動錠剤分包機の印字は全行熱転写方式であること。
- 1-21 分包紙への印字に関しては、Windows PCに標準搭載のフォント、外字や記号などをPC上で表示された通りに印字できること。また、下記項目を印字できること。
  - 写真
  - イラスト
  - ロゴ
  - バーコード
- 1-22 全自動錠剤分包機で使用する分包紙は、薬品に対しての品質保持に優れ、シールずれのない二ツ折り分包紙を採用していること。
- 1-23 患者の服用時に分包紙が開封しやすいよう、分包紙シール部のどこからでも切れる機能だけでなく、鮮明なイージーカット(開封用切れ込み)が入る機能

を備えていること。

- 1-24 調剤で使用する分包紙は、共通性を持たせることにより発注・在庫管理業務が非常に効率的になるように、既存の散薬分包機、錠剤分包機ともに共通の規格であること。
- 1-25 全自動錠剤分包機のサイズはW900mm×D600mm×H1960mm以下で、当院が指定する場所に設置できること。
- 1-26 台数は、制御用PC1台、全自動錠剤分包機1台、の構成であること。

8. 検査：6項に示す納入場所に納入りし、稼働保証のための検査は納入業者の負担で行い、11項に示す資料の提出がされたことを当該職員が確認したことをもって検査合格とする。

9. 契約不適合責任 契約不適合責任については、契約条項のとおりとする。

#### 10. グリーン購入法の推進

- 1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA機器等）の採用が可能な場合は、これを採用するものとする。
- 2) 本仕様に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

#### 11. 性能以外の要件：

##### 1. 搬入・据付・調整等

本調達物品の搬入及び稼働のための調整を行うこと。

##### 2. メンテナンス体制

- 1) 年間を通じ24時間の故障連絡体制が整備されていること。
- 2) 障害発生時において、復旧のための通報を受けてから、現場で早急な対応ができる体制であること。
- 3) 納入後1年間は、当機構の責によらない不備が生じた場合、無償で敏捷に交換・修理に応じること。

##### 3. その他

- 1) 取扱い説明書は、日本語版で3部提供すること。
- 2) 1週間程度の講習を含む取扱い説明を行うこと。
- 3) 本調達物品には、基本的機能を損なわないよう必要な備品を備えること。
- 4) 搬入、据付、調整、システム接続、試運転、操作説明、既設自動錠剤分包機の撤去処分に係る費用は受注者の負担とする。

- 5)既存装置は当院が指定する場所まで搬出すること。
- 6)本仕様書に記載されている事項、及び記載のない事項について疑義が生じた場合は、当機構と協議の上、その決定に従うものとする。

(要求者)

部課（室）名：Q S T 病院医療技術部 薬剤課  
氏名：横瀬 利彦